

(土石流被害の防止による評価)

(区分) 国補

事業名	復旧治山(通常)	事業箇所	南巨摩郡	早川町	雨畑	地区名	大久保沢(おおくぼざわ)	事業主体	山梨県					
(1)事業概要					(3)事業の妥当性評価									
①課題・背景					①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)									
<p>本計画箇所は、早川町雨畑地区を流れる一級河川雨畑川上流に位置する。平成24年6月の台風4号の集中豪雨により大規模崩壊が発生した。溪流には不安定土砂が堆積し、下流への土砂流出の恐れが高まったことから、雨畑地区へ通ずる唯一の県道雨畑大島線を保全するため、土砂流出防止対策を早急に実施し、下流保全対象の保護を図る必要がある。</p>					<p>・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当</p>									
					②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)									
②整備目標・効果					③経済妥当性									
□主要目標					<p>費用便益費 便益(B) / 費用(C) = 8.48 > 1.0</p> <p>・便益(B) = 2338 百万円 ・費用(C) = 276 百万円</p>									
<p>○土石流災害の防止 保全対象 発電所1箇所、県道2000m 緊急度・危険度 14 ≥ 10点 ※ 被害軽減額 576 ≥ 340百万円 ※</p> <p>(※ 評価基準値)</p>					④事業実施・規模の妥当性									
					<p>・流域内は治山堰堤が設置されているが、満砂となっている。なお、砂防ダム計画はない</p>									
□副次目標					⑤整備手法の有効性									
-					⑥環境負荷への配慮									
					<p>・切土法面は緑化し、裸地を残さない ・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を軽減する</p>									
□副次効果					⑦事業計画の熟度									
○被災時の波及防止 発電所の保全(雨畑発電所)					<p>・地元早川町より強い要望あり</p>									
					<妥当性評価>									
					<p>・7項目すべて妥当であることから、妥当と判断</p>									
(2)整備内容と整備量					(4)事業間優先度評価									
①整備内容					<p>・貢献度ランク: a 副次効果ランク: 1 優先度評価: S I</p>									
②整備期間					(5)総合評価									
③総事業費					<p>○</p>									
④全体計画					<p>・(3)及び(4)の結果から「最優先」に実施</p>									
⑤既整備内容・期間・事業費					【事業位置図等】									
昭和45年度 床固工1基 8百万円					<p style="text-align: center;">省 略</p>									
平成18年度 谷止工1基 37百万円														
昭和51年度 床固工1基 12百万円										平成19年度 谷止工1基 39百万円				
昭和49年度 谷止工1基 16百万円										昭和60年度 谷止工、護岸工 29百万円				
昭和37年度 谷止工1基 19百万円										昭和61年度 谷止工1基 31百万円				
昭和36年度 谷止工1基 4百万円										平成15年度 谷止工1基 48百万円				
昭和48年度 谷止工1基 15百万円										平成16年度 谷止工2基 57百万円				
昭和59年度 谷止工2基 36百万円					平成17年度 谷止工1基、山腹工0.18ha 64百万円									